

生鮮・デリカを強化

日本アクセス九州アクセス会総会



2017年度九州アクセス会総会

【九州】日本アクセス九州エリアは24日、ホテル日航福岡で「2017年度九州アクセス会総会」を開催した。山田徹九洲アクセス会長(サントリフーズ執行役員九州支社長)は「昨年は熊本地震、今年は集中豪雨など自然災害に見舞われた。食のライフラインに関わる者としてリスク管理が重要となる。政治状況も国内、海外を含めて不安定である。先行き不透明な環境下、既成概念にとらわれない新たなサービスが求められる。」と述べた。

九州アクセスは、日本アクセスのグループ企業として、高品質な生鮮食品、デリカを強化し、顧客のニーズに応えることを目指している。また、地域貢献活動として、熊本地震の被災者支援にも取り組んでいる。

一押しシチュー提案

ハウス食品秋の新製品商談会



【北海道】ハウス食品札幌支店長 藤原隆男氏

札幌支店は19日、道内各支店を巡回し、秋の新製品商談会を開催した。この日は、北海道産の食材を使用した「おふたりのシチュー」や「おふたりのカレー」など、秋の味覚を堪能できる商品が紹介された。

また、北海道産の食材を使用した「おふたりのシチュー」や「おふたりのカレー」など、秋の味覚を堪能できる商品が紹介された。

業務用米を積極PR

新潟県農産物生産者がPR



山田徹会長

新潟県農産物生産者は13日、東京千代田区のホテルメトロポリタンのホタルミで「新潟県産地産地消推進委員会」を開催した。この日は、新潟県産の業務用米を積極的にPRし、消費者への認知度を高めることを目指している。

また、新潟県産の業務用米を積極的にPRし、消費者への認知度を高めることを目指している。

ASEANとともに成長を

日本食産業ツアー 報告会・懇親会



ASEANととも成長を

ASEAN食産業入会報告会(アソシエーション)が運営する「日本食産業ツアー」の報告会と懇親会が10日、東京・明治記念会館で開かれた。報告会には政府関係者、民間企業から来賓が参加し、ASEANの食産業の現状と今後の成長について話し合った。

また、懇親会では、アソシエーションの代表者が、ASEANの食産業の現状と今後の成長について話し合った。



ASEANととも成長を

ASEAN食産業入会報告会(アソシエーション)が運営する「日本食産業ツアー」の報告会と懇親会が10日、東京・明治記念会館で開かれた。報告会には政府関係者、民間企業から来賓が参加し、ASEANの食産業の現状と今後の成長について話し合った。

また、懇親会では、アソシエーションの代表者が、ASEANの食産業の現状と今後の成長について話し合った。

ASEAN食産業入会報告会(アソシエーション)が運営する「日本食産業ツアー」の報告会と懇親会が10日、東京・明治記念会館で開かれた。報告会には政府関係者、民間企業から来賓が参加し、ASEANの食産業の現状と今後の成長について話し合った。

また、懇親会では、アソシエーションの代表者が、ASEANの食産業の現状と今後の成長について話し合った。

「同「ビーフ」、濃厚な風味でスープとの差別化を狙う「ピストロ」や「クリムシチュー」など、秋の味覚を堪能できる商品が紹介された。

また、北海道産の食材を使用した「おふたりのシチュー」や「おふたりのカレー」など、秋の味覚を堪能できる商品が紹介された。

「同「ビーフ」、濃厚な風味でスープとの差別化を狙う「ピストロ」や「クリムシチュー」など、秋の味覚を堪能できる商品が紹介された。

また、北海道産の食材を使用した「おふたりのシチュー」や「おふたりのカレー」など、秋の味覚を堪能できる商品が紹介された。